

「大建」、小の月を「小建」という。また、夏曆で、「正月」は寅を指すから「建寅の月」、二月は卯を指すから「建卯の月」とする。↓補説①

○星躔…星の宿り、星度

『漢語大詞典』には、「日、月、星辰運行的度次」と説明する。太陽や月・星の運行の仕方（程度）のことである。

131 ○世路…世の中、処世の道、世渡り、世途。

『漢語大詞典』には、「人世間的道路、指人們一生処世行事的歷程」と説明する。

▼「世路難」…世路が困難で、意のごとくならぬのをかこつ語。

『菅家文章』の「192 早秋夜詠」に「家書久絶吟詩咽、世路多疑託夢占」の句が、また「301 白毛歎」に「祇是行行世路難」の句が見える。このように道真の詩では、「世路」は「世路難」として、「世の中を生きて行く上で、困難で意のままにならないこと」をいう意で使われている。

▼「世路風波」…世の中の難儀な事柄。人生の波瀾。世を渡ることの平穏でないのをいう。

○間 ……あいだ。へだてる。隔てる。遠ざける。離す。尊経閣所蔵本では「聞」とする。

○彌 ……いよいよ、ますます。

○險 ……狭い。けわしい所。へだてる。とどめる。さまたげ止める。

132 ○家書…郷家からの音信、家信、家問と説明する。『漢語大詞典』には、「家人來往的書信」と説明する。杜甫「春望」に「家書抵萬金」の句が見える。

133 ○寬 ……ゆるやかにする。ゆるめる。